

# 踏み跡 <My Mountains>

丹沢	水無川 背戸の沢左俣廻行	No.120
----	--------------	--------

昭和44年1月19日

正月に大阪出張とは何とスタートの悪い年か！！ おまけに代休をとって一週間の北海道旅行をしてきたので、今年の第一登は一月も中旬を過ぎてからになってしまった。

北海道で本場の寒さに慣れてきたため、今年は寒さに対しては自信が持てそうな気がする。

吉野から声がかかり、たまには一緒に沢でもやろうかということになり石関を誘った。

新宿発7時20分。大倉から林道に入り、まずモミソの出会いでひとやすみ。

出会いの壁でアップザイレンとダウンクライムの練習。岩は久しぶりで怖かったが、段々に調子が出て懸垂下降もするようになるようになってきた。11時頃までは何やかやと練習をし、昼食を取った後本番開始。

初夏を思わせるような日差しに沢登りは気持ちよく、まさか一月とは思えないような・・・。

水無川本谷から背戸の沢に入りF4で再び練習。ハーケンを一本打ちアンザイレンして登り、アップザイレンで下る。モミソの出会いでやった練習のリピート。

F6は下段がチョックストーンチムニー、上段がショートホールドのナメ。この滝だけは手に負えず高巻き。ようやく昔のリズムが戻ったところにはもうツメのガレ。

表尾根の新大日小屋に16時30分到着。夕暮れの誰もいない尾根、富士と箱根と愛鷹連峰さらに伊豆大島もありありとうかがえる。高曇りの夕暮れ、汗ばんだ体がブルンと震える。

下りは政治郎尾根を駆け足、戸沢出会いまで下りきった頃はもう真っ暗で、しかも靴は泥んこ。

渋沢で買った今川焼を電車の中で食べて、新宿西口の焼鳥屋でビール。新年会を兼ねた一石二鳥の山行となった。

以上

